

山西大学オンライン留学報告書

小路琉生

はじめに

令和4年9月から令和5年1月までの約半年間、埼玉県親善大使として山西大学、国際教育交流学院へのオンライン留学に参加させていただいた小路琉生と申します。今回は新型コロナウイルスや、ロシア・ウクライナ戦争など様々な社会的問題がある中、オンライン留学という貴重かつこのような状態ならではの学習の機会を設けていただき、心より御礼申し上げます。今回は対面での交流はなかったものの、この半年間でたくさんの方のことを学ぶことができました。以下に私が学んだことと併せて、これから派遣留学される皆様が効果的に学習を進め、大きな経験にできるよう、参考となる情報について紹介させていただきたいと思っております。

留学前の準備について

私はオンライン留学プログラムに応募する時点では全く中国語が話せず、読むこともできない状態でした。したがって、まず中国語の基礎的な部分、主に文法とピンインから始めました。HSK 三級レベル以上の知識、もしくは同等の学習レベルがないと、授業内で言われていることが理解できず、文化交流としての役目を果たすことができなくなってしまいます。そのため、市販の参考書、東京外国語大学の中国語講座のモジュールなどを利用しながらHSK三級程度の読解力とリスニング力などをつけました。他にも利用できる人はNETFLIXなどで中国のドラマを日本語字幕、中国語字幕で見ると発音や口語表現なども学ぶことをお勧めします。

私のオンライン留学について

オンライン留学ではまず、ding talk というアプリを通してレベル分けのテストを行います。私は中国語のレベルが高くなかったため初級のクラスでした。クラスには様々な国から留学生がオンラインで参加しており、自分の国を出ずとも、海外で行われている授業に参加できることや国際色豊かな交流ができることが、オンライン留学のとても良い面であると感じました。しかし、私たちのクラスが初級だったから、ということもあると思いますが、授業内での指示や文法の説明など多くの場面で英語が話されています。したがって、文法や品詞などの英単語を事前に学習しておいた方が、初級クラスに入る中国語レベルの場合は授業内での説明が理解しやすいと思います。授業は科目が三種類あり、簡単に分けるとリスニング、文法と語彙、リーディングがあります。どの授業でも発言するタイミングがあり宿題も毎回課されます。宿題では学んだことをベースに自分で中国語を話し録音するもの

や、長文を読んで質問に答えるものなど様々な方法で中国語の能力を高めるための課題が出されます。これらを毎日行うので課題の量が多いと言えますが、中国語のレベルを確実に上げたい、という気持ちを保つことができれば、留学が終了する頃には中級以上にはなれる内容になっていると実感しました。

他には、私は対面ではなくとも実際に同じクラスメートとなった人とはコミュニケーションをとりたいと考えていたので、グループではなく個人チャットを開いて中国語で話してみたり、課題でわからなかったところを一緒に考えてみたりするなど様々な方法でコミュニケーションを取ることができました。会話することはいい学習のアウトプットになるので、今後も続けていきたいと思っています。特に分からなかったことがあれば、先生たちも積極的に個人チャットに課題を送るなどしてくれるため、とても良い学習環境であると感動しました。

また、埼玉親善大使として埼玉県を紹介をしました。具体的には、中国山西省の自然に融合した住宅などと比べながら、秩父の山の滝川峡谷や御岳山などの自然について話したり、麺類が有名であることから獨協大学前駅の近くにあるラーメン屋「鷹の目」、草加煎餅など食についても紹介し合いました。

反省点

今回のオンライン留学ではとても整った学習環境と、教員たちがいたのに対して、私は中国語のレベルが高くなかったこと、学業や私生活の事情もあり宿題をこなすことに非常に苦労しました。しかし、今考えてみれば1年間もしくは半年間休学してでも、中国語学習の環境が整ったシステムをフル活用し、より高度な中国語のスキルを得ていた方が向こうの学校に対しても自分に対してもよかったのではないかと思います。

まとめ

今回のオンライン留学では様々な国の人と関わりを持たたと同時に、国際的な場での英語の役割、そして中国語の需要などを確認し、学びを深めることができました。

これから埼玉県親善大使として山西大学に留学しようとしている、もしくは準備している人は、私の報告書や反省点を読み、参考にさせていただきたいです。この留学が自分に対してどのような意味を持つのか、親善大使としての役割はどのようなものなのかをより意識して、留学での学びがより良いものになることをお祈りしています。

末筆ではございますが、今回の留学を支えてくれた埼玉県職員の皆様、山西大学職員の皆様に改めて心より御礼申し上げます。